

熊本駅東口駅前広場について

熊本駅周辺整備における熊本駅東口駅前広場の設計者が選定されました。

平成19年11月17日(土)熊本市青年会館において、先に指名した8名の建築家から、設計に対する提案や考え方の説明を求め、公開による審査が行われました。

その結果、最もふさわしい設計者として西沢立衛にしざわりゆうえ氏が選定されました。

(西沢立衛氏の略歴)

1966年	東京都生まれ
1990年	横浜国立大学大学院修士課程修了
1990年	妹島和世建築設計事務所入所
1995年	妹島和世と共にSANA A(共同事務所)設立
1997年	西沢立衛建築設計事務所設立
2000年	ハーバード大学客員教授
2001年~	横浜国立大学大学院助教授
2003年	南カルフォルニア大学客員教授
2003年	シンガポール大学客員教授
2004年	デュッセルドルフ工科大学客員教授
	ベネツィアビエンナーレ第9回国際建築展金獅子賞受賞(金沢21世紀美術館)
2005年	プリンストン大学客員教授
2006年	スイス連邦工科大学ローザンヌ校客員教授

(公開審査詳細)

1 対象施設 東口駅前広場(暫定整備)、立体横断施設、市電熊本駅前電停

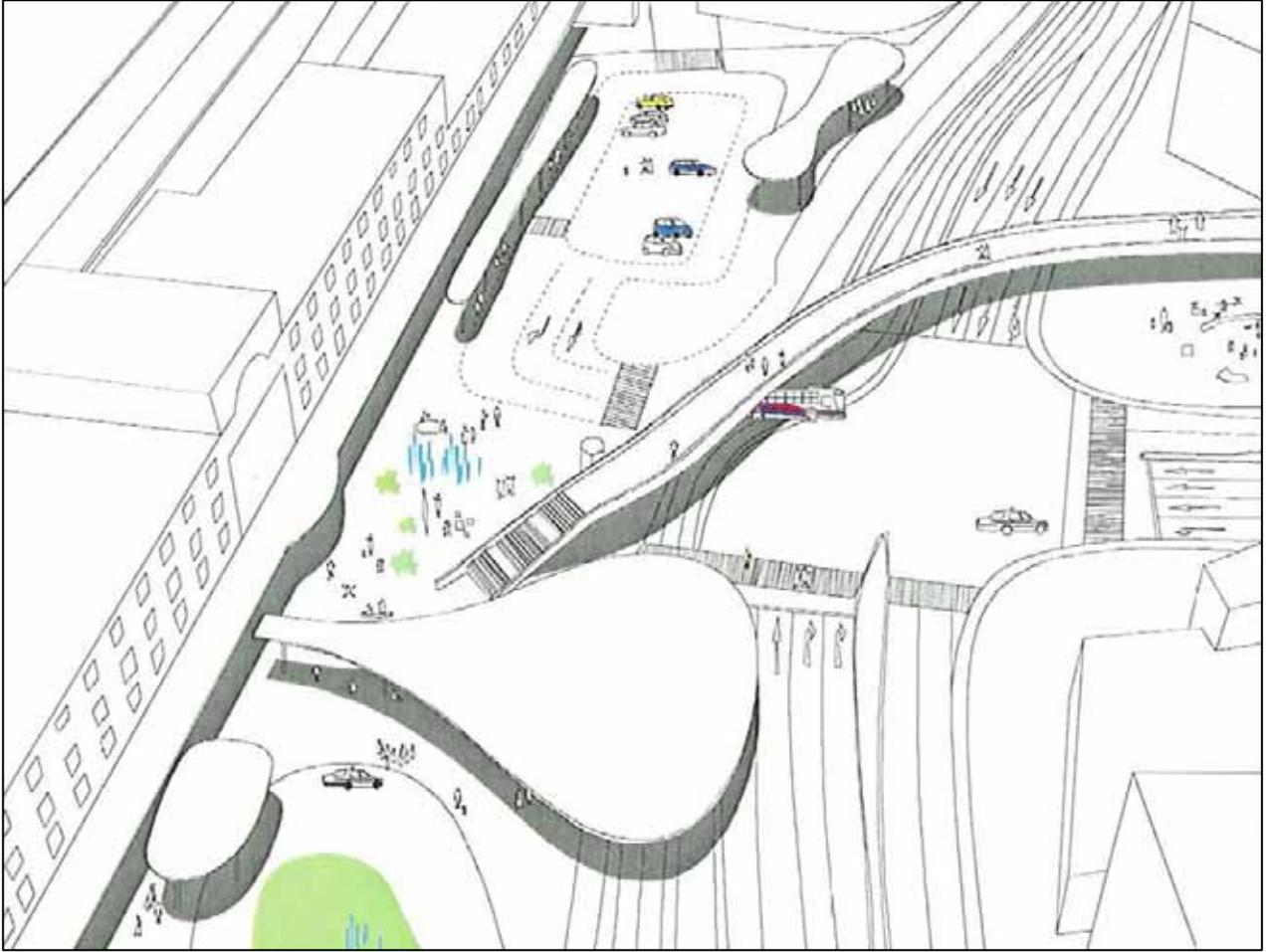
2 審査委員 審査委員長 伊東豊雄 (建築家。アートポリス・コミッショナー)
 審査委員 桂英昭 (同 アートポリス・アドバイザー)
 末廣香織 (")
 曾我部昌史 (")

3 設計者の選定理由

西沢氏の提案はフレキシブルな形態なので、長丁場に亘ってデザインが続けられる中で、さまざまなデザインの関係にも対応し得ること、熊本県が進めるユニバーサルデザインへも対応していること、屋根のボリューム(量)や横断橋の屋根の問題などで、今後協議に柔軟に対応していくという姿勢が評価されています。また、西沢氏自身がこれまでもさまざまな厳しい条件の中で作品を創り続けているという実績を踏まえ、今後の厳しい条件に十分対応できる設計者であると判断され、選定されました。

4 今後の設計について

今回提案されたデザインは、駅前広場の整備の考え方を示したものであるため、そのまま実現するものではありません。具体的な設計内容は、今後、事業者である県と西沢氏の間で設計委託契約を行い、JR九州など関係者と協議しながら、設計が進められこととなります。



< 公開審査時の東口駅前広場のイメージ図 >